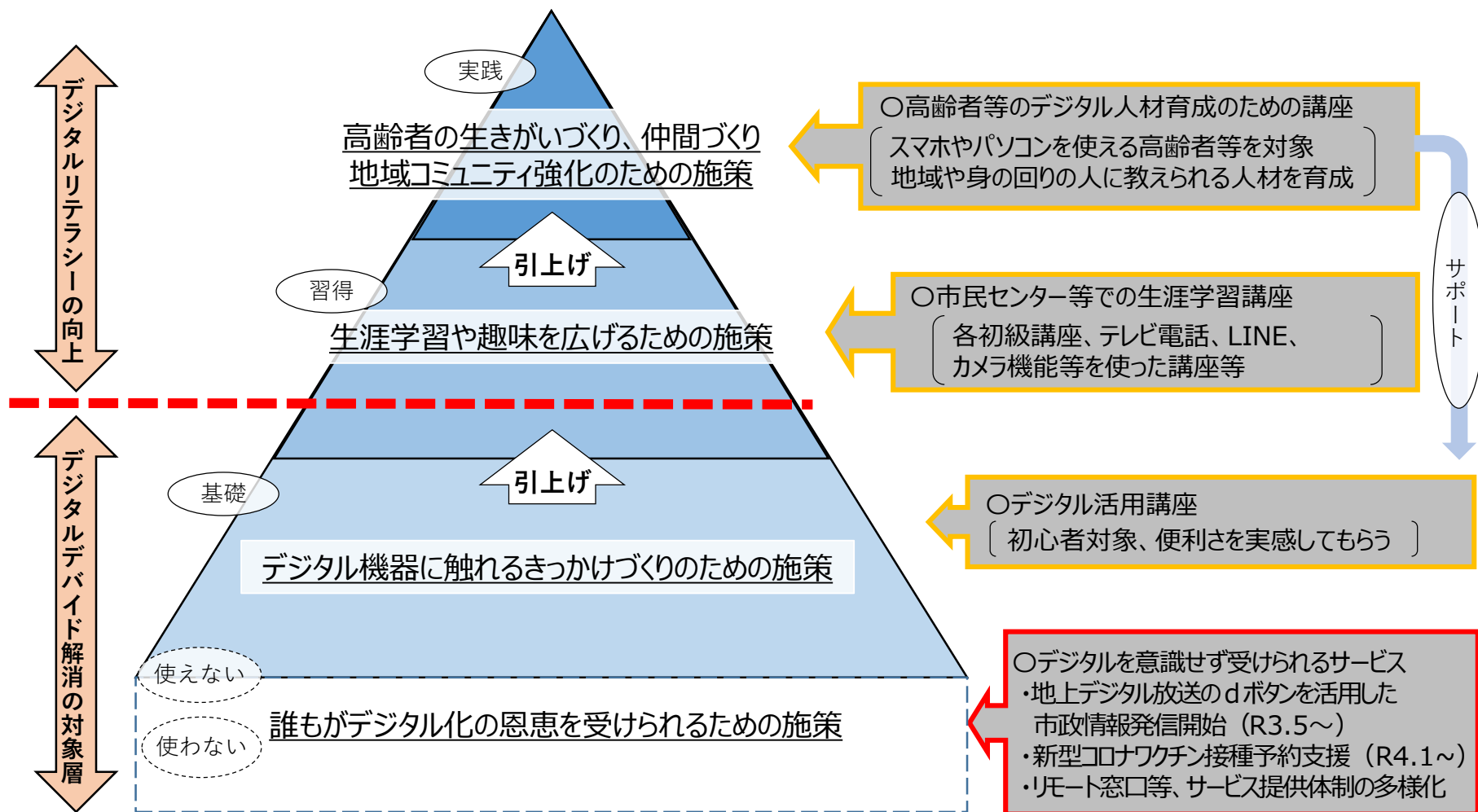


- 本市では、高齢者を中心に約25%がインターネットを利用していない ※令和2年3月本市情報化アンケート調査結果
- 国が目指す「全ての人々がデジタルの恩恵を受けることができる社会」を実現するため、デジタルに興味を持ってもらうよう、「デジタル活用講座」を開催し、底上げに注力
- 使わない層に向け、**直接デジタルを意識することなく**便利な行政サービスを届けられる取り組みを推進



デジタルデバインド対策（デジタル活用講座）

デジタルデバインド対策の一環として、スマートフォンを操作したことがない方や操作に不慣れな方を対象に、**日常的な活用のための第一歩**となるよう、**基本的な操作や本市のオンラインサービス等の体験講座**を実施

（１）実施概要

市民に身近な市民センター 30館で開催（令和3年度） ※1館あたり10名程度

（２）講座内容

- ・電源の入れ方・切り方、インターネットの使い方、検索方法など基本的な操作
- ・詐欺の被害（メールの詐欺）に遭わないための注意点、スマホを使った防災対策
- ・マイナンバーカードを使った行政手続きや便利なアプリの紹介 など



デジタルリテラシー向上のための取組

○市民センター等で生涯学習講座や高齢者のデジタル人材育成の講座を開催年間50回程度開催（令和2年度）

- ・生涯学習や趣味を拡げるため、テレビ電話、LINE、カメラ機能など
- ・スマホを使える高齢者を対象に、地域や身の回りの人に教えられる人材を育成

○障害者パソコンサポーターを養成し、障害者パソコン講習会等へ派遣

- ・令和元年度：500回、令和2年度300回程度派遣



dボタンを活用した情報発信

dボタン広報誌

テレビのdボタンを活用し、災害時の緊急のお知らせや、新型コロナウイルス感染症に関する情報、催しや講座、検診などの身近な情報を配信（令和3年5月～）



地域企業のDXも推進。地域企業の課題を市が中心となって、産学官で連携して解決。DX機運醸成、DX準備、DX実践と切れ目のない支援体制を構築し、市内企業の生産性向上、新たな価値創出を実現。



DX機運の醸成(会員219社)

- ・DX推進プラットフォーム
- ・セミナー、導入事例紹介
- ・推進拠点創設、展示会

DX準備(124件相談対応)

- ・相談対応、伴走支援
- ・人材育成
- ・首都圏、学生の知見活用

DX実践(73件の実績)

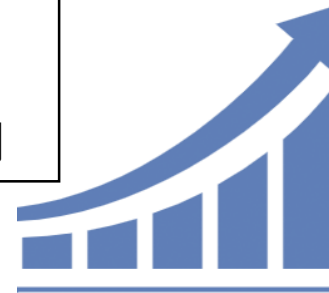
- ・北九州市独自の補助金制度
- ・専門コンサルのサポート

北九州市DX推進プラットフォーム
会員数 219社（令和3.12時点）

〔ユーザー企業130社（市内企業に限る）〕
〔ベンダー企業89社（市内外を問わず）〕

代表企業 (株)YE DIGITAL

事務局 北九州市、北九州産業学術推進機構



生産性向上
目標 2023年300社
新たな価値創出

リテラシー向上に向け、**企業人材のスキルアップ**（経営者のマインドセット、企業内人材の育成）に加え、**外部人材との連携**（首都圏、地元大学）も推進。73件のDX実践につながる成果を上げている。

企業人材育成

経営者のマインドセット



- ・第4次産業革命への対応力を経営トップ自らが検討できる**日本で唯一**のビジネススクール開催
- ・**50人以上**受講

企業内人材育成

- ・現場リーダー・従業員を対象にデジタル、IoTを学ぶ講座開催
- ・1万円以下で導入できるラズベリーパイなど取り組みやすいテーマ
- ・講座を通じて、DX実践につなげていく

外部人材連携

首都圏人材との連携

- ・北九州に貢献したい首都圏の人材と市内企業をつなぐ事業を実施
- ・**不動産DX**、**事業再構築DX**など**20件以上**の案件創出見込み
- ・事業を通じて首都圏人材と連携することでスキルアップが期待

地元大学との連携

- ・**インターンシップ型アルバイト**では、企業のデジタル化の課題を、**ITに強い地元大学生が解決**
- ・企業のDX推進と学生の成長の双方の実現に寄与。地元企業を知ることで学生の地元就職も期待

リテラシー向上の取組みにより、DX準備（124件）→DX実践（73件）の成果